

1 事業の成果

2019年度後半は、世の中全体が大変な年になりました。人類が今まで直面したことのない「コロナウィルス拡大」による緊急事態宣言がだされ、みんなが困り果ててしまったことは、言うまでもありません。弊会の活動も最終的には自粛を決定し、それまでの判断の時期を含めてとても苦しい年度末になりました。また、スタッフや子ども達が大変お世話になった方が急逝されるという、とても悲しい出来事もありました。そのような中で、倶楽部活動の継続や、他団体とのコラボレーション事業の充実など、弊会ならではの活動の形がだんだん整ってまいりました。

日中一時支援事業（余暇支援事業）参加者は、社会人となり、学齢期の方が半分以下になりました。ただ、長年継続参加してくれている参加者の成長は目覚ましく、個々得意なことや好きなことを継続して楽しむことで、今まで見たことがない顔をたくさん見せてくれるようになりました。保護者からは、子ども達の楽しそうな顔を見られることや、一緒に倶楽部活動などに参加することが、レスパイトに繋がるとの声をいただき嬉しい限りです。

スタッフ側も勿論高齢化は続きます。継続参加してくれたボランティアさんも就職され、活動参加は難しくなるなど、どんどん厳しくなって参りました。が、スタッフ一人一人が自分の役割を自覚し、助け合っって子ども達の支援を行うことや、内容を工夫することによって、事故なく問題なく実施することができました。

また、協力者（指導者）にも、継続してお世話になることで、子ども達への理解は勿論、会の活動についても深くご理解いただけることを実感できる年になりました。

事業計画書で、具体的に掲げた項目については下記の通りの結果となりました。

①日中一時支援事業 ちえりっしゅ

- ・ただ余暇を過ごすだけでなく、参加者の年齢や、障がい種別を意識しながら、参加者・介助者が共に成長していける活動の実施を心がけます。

↓

★「ちえりっしゅ」の根本になっているコンセプト、「本物の体験活動」がより一層形になってきました。介助者側はまだまだ成長の必要がありますが、参加者への理解も、共に体験を楽しむ余裕も深まってまいりました。

- ・日中一時支援事業の本来の目的である「親のレスパイト」のための活動を行うと同時に、保護者が一緒に楽しめる活動（ギター倶楽部・保護者のボランティア参加など）の実施に力を入れていきます。

↓

★ギター倶楽部は、参加者とその保護者に加え、かつての学校の先生にもご参加いただき、みんなが横並びで同じものを目指して意見を交わしながら練習しています。保護者が練習中の託児も実施するなど、本来の日中一時支援の形ができあがりつつあります。他の活動も参加を楽しんでくださる保護者さんがいらっしやいます。特筆すべきは、他団体から、発表の機会をいただけたことです。大人も子どもも、心地よい緊張と高揚感を感じることができました。

- ・参加者の年齢別・性別の活動を実施。それぞれの今の環境に相応しい参加を募れるような仕組み作りを行います。

↓

★男子会・女子会は、高校生になったら参加できる。という子ども達の目標や憧れになっています。半面、会の主旨と参加希望者の想いとのギャップが露出し、みなさんの気持ちを大切にしながらの実施は大変難しいものになってきました。

できる限り、個々の能力にあった活動を続けていくべく、今後も検討要です。

- ・音楽活動を中心に、他団体とのコラボ事業にもチャレンジします。



★「みつくすじゃむ音楽会」は、実行委員会を別に作り、弊会スタッフも実行委員として、他団体の方々と一緒に運営していく仕組みを作りました。指導者や参加者もより広い範囲から募ることができ、ちえりっしゅ参加者にとっては、より活動を楽しめる環境になりました。

また、みつくすじゃむ音楽会をきっかけとして、県内外の障害者芸術文化活動との関わりもでき、横のつながりを持つこともできました。このことはスタッフ・参加者共に人間関係を広げることになり、充実した時間づくりに繋がりました。

- ・倶楽部活動（「本物の体験活動」をより継続的・より専門的に実施し、現在の生活のモチベーション・将来の力とするために、月に一度、基本的に毎回参加というルールのもと、登録を経ての参加を募る活動）の充実・拡大を行っています。



★参加者に社会人が多くなる中で、倶楽部活動に継続参加することが日常となり、長く趣味として楽しめるものとして定着しつつあります。また、いろいろな発表やコラボレーションの機会を経て、人との関わりや変化がみられ、個々の自信が見てとれるようにもなりました。

個別の倶楽部活動の様子

◎打楽器WS「PONPOKO」：2012年始動から、はや8年。長年継続して活動しているメンバーも増え、それぞれの役割が決まりつつあります。何よりも、「人の音を聴く」という基本的、かつ難しい課題をほぼ達成できていることは、ご指導くださる、中路友恵先生と共にスタッフ一同、おおいに満足し感動しています。

◎お習字倶楽部「ほっこり洞」：2014年始動。こちらも長年継続となりました。多少の入替りがあるものの、ほぼ当初のメンバーで、それぞれの成長が見られます。先生のご厚意で年に一度の大きな展覧会への出展は、メンバー達の大きなモチベーションになっています。展覧会主催の書道会の方々にもお見知りおきいただき、地域とのつながりもできました。

◎造形教室「アトリエチャオ！」：2015年始動。メンバー的には多少の入替りがあるものの、ほぼ当初のメンバーが継続して参加。それぞれが個性的な作品を作る時間を楽しんでいます。

◎和太鼓倶楽部「Dragon たいこ」：2017年始動。音楽が苦手な方や、視覚・聴覚に障がいがある方も多く参加する大所帯となりました。Dragon たいこが満員のため、「かーぶ」という体験教室も別に実施することになりました。また、太鼓を通じていろんな団体や指導者との繋がりもできました。

◎ギター倶楽部「ひなたユニット」：2017年始動。今や、ちえりっしゅの倶楽部活動というより、社会人が集まったの趣味のグループバンド的な位置づけとなりました。個々が楽しみながらそれぞれの成長を遂げています。

◎お箏倶楽部「さくら倶楽部」：2018年始動。まだまだ少人数ではありますが、みんな音を上げずに頑張って練習しています。ほとんどが社会人になりますが、趣味として長く続く予感がします。

他に、準倶楽部活動として（同好会的位置づけ）下記2つの活動をほぼ定期的実施しています。

○男子会・女子会：2018年始動。年齢や個々の目指すところを配慮しながら、社会活動を快適に安全に行うための体験活動を実施しています。メンバーをある程度限る必要があり、保護者の想いや本人の意思と活動の目的のバランスが難しいところです。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施時期	実施予定場所	実施人数	受益対象者の範囲
子ども・保護者に対する音楽を通じた教室の運営事業	・デリバリーリトミック「おんぷひろば」	単発	滋賀県	5	幼児・児童とその保護者
託児施設運営事業	・デリバリー託児「おんぷくらぶ」	通期	大津市	4	幼児・児童
子育てに関するイベント・セミナー開催・助成、委託事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中一時支援事業「ちえりっしゅ」 ・ 倶楽部活動事業 「お習字倶楽部 ほっこり洞」 「造形倶楽部 アトリエチャオ！」 「打楽器倶楽部 PONPOKO」 「和太鼓倶楽部 Dragon たいこ」 「ギター倶楽部 ひなたユニット」 「お箏倶楽部 さくら倶楽部」 「男子会」・「女子会」 「BLUE 音楽教室」 ・ サマーホリデー事業 ・ 自然交流活動「ネイチャーチャレンジ」事業 ・ 食育事業 ・ 音の玉手箱事業 (平和堂財団 いきいきすくすく淡海っ子助成) ・ 陽なた村キッズチャレンジ (守山市まちづくり支援助成) ・ おとものがたり事業 ・ みっくすじゃむ音楽会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 通期 月1回 月1回 月1回 月1回 月1回 月1回 月1回 月1回 月1回 7月・8月 4月 月1～2回 年間5日 年間7日 8月・2月 年12日 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栗東・草津・守山市 守山市 守山市 草津市 大津市 守山市他 栗東市 関西一円 守山市 栗東・草津・守山市 栗東市 滋賀県 守山市 近江八幡市 守山市 近江八幡市 滋賀県 	<ul style="list-style-type: none"> 8 4 4 6 7 4 4 7 6 8 8 7 7 7 7 7 4 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児者 障がい児者 障がい児者 障がい児者 障がい児者 障がい児者・一般 障がい児者 障がい者（高校生以上） 障がい児者・一般 障がい児 ・ 障がい児者・一般 ・ 障がい児者・一般 ・ 障がい児者・一般 ・ 障がい児者・一般 ・ 障がい児者・一般 ・ 障がい児者・一般 ・ 障がい児者・一般
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	・ 居宅介護事業 サービスセンターまありえ	休止	・ 滋賀県	0	障がい児者
地域生活支援事業	・ 移動支援事業 サービスセンターほいほい	休止	・ 栗東・草津・守山市	0	障がい児者

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定・日時	実施予定場所	予定人数
物品販売事業	当該年度は実施予定なし			
広告事業	当該年度は実施予定なし			

3. 実施体制等に関する事項

(1) 総会の開催状況

2019年5月29日 弊会事務所内にて開催

(2) 理事会の開催状況

弊会定款に従い適宜開催

4. 社員、支援者等に関する事項

(1) 会員等の状況（2020年3月31日現在）

正会員数10組 賛助会員数7組

(2) ボランティアの状況

登録スタッフ数14名（2020年3月31日現在）

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人 子育て研究会

科 目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 会費・入金収益		
正会員会費	110,000	
賛助会員会費	63,000	173,000
2 自主事業収益		
リトミック託児事業	610,000	
イベント・セミナー開催事業	248,500	858,500
3 雑収入		
受取利息	41	
その他	3	44
4 委託・助成金等収益		
公的委託(日中一時)事業	14,119,671	
助成金事業	1,591,490	15,711,161
5 寄付金等収益		
寄付金等収入	90,000	90,000
経常収益計		16,832,705
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給与手当	6,158,665	
(2)その他経費		
広告宣伝費	7,310	
事務消耗品費	1,786,850	
地代家賃	12,000	
修繕費	335,945	
賃借料	433,520	
保険料	124,530	
旅費交通費	3,964,651	
通信費	121,687	
水道光熱費	4,804	
支払手数料	489,176	
会議費	278,812	
接待交際費	584,330	
業務委託料	20,500	
新聞図書費	23,447	
雑費	94	14,346,321
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	1,420,000	
雑給	2,760	
法定福利費	183,674	
(2)その他経費		
事務消耗品費	38,991	
広告費	19,268	
地代家賃	360,000	
公租公課	78,200	
修繕費	17,928	
源泉所得税	5	
旅費交通費	940,300	
通信費	121,124	
支払手数料	297	

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 子育て研究会

科目・摘要	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	314,179		
普通預金	1,171	315,350	
未収入金	1,674,942		
前払費用	983,640		
流動資産合計		2,973,932	
2 固定資産			
車両運搬具	340,821		
工具器具備品	52,054		
固定資産合計		392,875	
資産合計			3,366,807
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	18,460		
未払費用	18,030		
預り金	17,629		
流動負債合計		54,119	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			54,119
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,715,925	
当期正味財産増加額		▲ 1,403,237	
正味財産合計			3,312,688
負債及び正味財産合計			3,366,807

*今年度、減価償却は実施しておりません。

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 子育て研究会

科目・摘要	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金手許有高	314,179		
普通預金 滋賀銀行	1,171	315,350	
未収入金 (助成金等未収額)	1,674,942		
前払費用 (家賃等)	983,640		
流動資産合計		2,973,932	
2 固定資産			
車両運搬具 (車両2台)	340,821		
工具器具備品	52,054		
固定資産合計		392,875	
資産合計			3,366,807
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	18,460		
未払費用	18,030		
預り金	17,629		
流動負債合計		54,119	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			54,119
正味財産			3,312,688